

テーマ 日本史の学会で注目されている事柄を調べてみよう

課題やレポート等で社会学に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。東洋史を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう

日本史、争点、研究史 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書資料の貸出はできませんので注意してください。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『日本古代史研究事典』(東京堂出版、1995年)	1F:和参考書	210.3/NK-K	10+0026291	日本の古代史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本中世史研究事典』(東京堂出版、1995年)	1F:和参考書	210.4/NT-K	10+002586	日本の中世史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本近世史研究事典』(東京堂出版、1989年)	1F:和参考書	210.5/N13/1	50+0005989	日本の近世史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本近現代史研究事典』(東京堂出版、1999年)	1F:和参考書	210.033/NK-K	10+0076808	日本の近現代史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。

入門書 ☆基礎を学んでみよう。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『争点日本の歴史』1巻 原始編 旧石器～縄文・弥生時代 鈴木公雄 編, 新人物往来社	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-1	50+0067074	日本の縄文・弥生時代以前の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』2巻 古代編 1 白石太一郎,吉村武彦 編, 新人物往来社	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-2	50+0045906	日本古代史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』3巻 古代編 2 吉村武彦,吉岡真之 編, 新人物往来社	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-3	50+0045907	日本古代史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』4巻 中世編(平安末期～戦国時代) 峰岸純夫 編, 新人物往来社	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-4	50+0045908	日本中世史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。

『争点日本の歴史』5巻 近世編 江戸時代 青木美智男,保坂智 編, 新人物往来社	B1A:和開図書	210.1/S2/1-5	50+0067075	日本近世史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』6巻 近・現代編(幕末～第二次大戦後) 佐々木隆爾 編, 新人物往来社	B1A:和開図書	210.1/S2/1-6	50+0067076	日本近現代史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『週刊朝日百科 週刊新発見日本の歴史』2013～14年, 朝日新聞出版	2F 和開図書	B	98+0005321他	日本史研究において明らかになった新たな事実や論点を積極的に取り入れて、様々なキーワード・トピックなどを採り上げて紹介している。
『新視点日本の歴史』全7巻, 新人物往来社	B1A 和開図書	210.1/SN-R/1	10+0313546他	日本史の研究における注目されている事柄をキーワードを説明する形で紹介している。
『明治維新史研究の今を問う—新たな歴史像を求めて—』明治維新史学会 編, 有志舎	2F 和開図書	210.6/MI-K	10+0313647	明治維新史研究におけるキーワードを説明する形で紹介している。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『岩波講座 日本歴史』第1巻～第17巻 大津透 他 編, 岩波書店	2F 和開図書	210.08/IK-N/1	10+0301222他	日本史の各時代に関する論点・注目点を踏まえながら、総括的に示している。

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC (蔵書検索) や CiNii で調べましょう

図書館の OPAC ・データベースについては Student's Handbook2016 内の『図書館活用ガイド』134 ページ・136～138 ページを参考にしてみよう！

●印のデータベース・Web ページは、図書館 HP にリンクがあります

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
国立国会図書館オンラインサービス	http://www.ndl.go.jp/	
●CiNii Articles	http://ci.nii.ac.jp/	関係図書・論文を検索する上で、役立つ
東京大学史料編纂所データベース	http://wwwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/db.html	
アジア歴史資料センター	http://www.jacar.go.jp/	
国立公文書館	http://www.archives.go.jp/	
データベースれきはく	http://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/database/index.html	関係史料・図書を検索する上で、役立つ。

※上記 URL は 2016 年 3 月現在のものです。